

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To Me

12

Dec 2019
Vol.295



【ときめき人】

大竹 寅夫さん

【特集・今月の表紙】

このまちで、活きる

【主な記事】

令和元年台風第19号

【ズームアップ】

太田忠幸さん、洋子さん





減少が続く市内の事業所数―。
地域経済を活性化するためには、地域資源を活用した
ビジネスを支援し、地域に根差した産業の育成が必要です。
創業したいという人を応援するため、市、商工会、金融機関、
民間支援団体などが連携。さまざまな創業支援策が展開されています。
「趣味や特技を仕事にしたい」
「生まれ育ったまちを元気にしたい」
夢を実現し、地域の活性化にもつながる「創業」について考えます。

特集

このまちで、 生きる

創業という人生の選択

減少する中小企業 求められる支援

国は、中小企業が減少し続け、経済が低迷する状況を打破するため、2013年6月に「日本再興戦略」を閣議決定。創業支援を強化することで、地域経済の活性化を目指しました。

本市でも商工業者数は年々減少。持続的な地域経済の発展を目指すためには、活力ある経営体を育成し、地域に雇用と所得を生み出す必要があります。市は、国の動きに合わせて、これまで取り組んでいた企業誘致、農林業の振興、商店街支援、1次産業を軸とした6次産業化に加えて、創業支援を本格的に始めました。

さまざまな団体が連携 創業支援事業計画を策定

まず着手したのが、市、市内の各商工会、金融機関などとの連携を強化することです。それらの団体

工連連合会が仙台市内に設置している相談窓口「宮城県よろず支援拠点」と連携。登米市にいなながら、出張相談やテレビ電話による遠隔相談ができ、県内の自治体では初の取り組みです。

よろず支援拠点には、さまざまな分野に詳しいコーディネーター14人が在籍。情報通信技術、金融、デザイン、食品など、各分野の専門家がチームを組んで課題解決に向けた相談に応じています。相談は創業時だけでなく、その後の経営改善や規模拡大などにも対応。無料で相談することができ、創業後も継続してサポートしています。

が連携して創業希望者を支援することを定めた「登米市創業支援事業計画」を13年に策定。国の認定を受け、さまざまな支援が可能になりました。

その一つの例が特定創業支援事業です。市が認定した創業支援事業者である、各商工会またはコンテナおおあみが実施する創業セミナーに参加すると、市から証明書が発行。創業時の登記に必要な税金が半額になるなどの優遇措置を受けることができます。

支援する体制を強化 サポートセンターを新設

市は、創業支援を強化するため、本年10月10日に「登米市ビジネスサポートセンター」を産業経済部産業連携推進課内に新設。これまで商工会が主な相談窓口を担ってききましたが、相談窓口を増やすことで、潜在的な創業希望者を発掘し、創業者数の増加を目指します。サポートセンターは、宮城県商

新たな挑戦を応援するため 費用の負担を軽減

創業するためには、土地、建物の建設や改修費、設備の購入など、多くの資金が必要になる場合があります。その負担を軽減するため、市独自の補助金制度「ビジネスチャンス支援事業」を実施しています。14年4月には、創業や創業するための技術習得に特化したメニューを新設。市が開催する審査会において認定を受けると、補助率4分の3以内で最大225万円の助成が受けられます。

認定を受けられなかった場合で

も、一定の要件を満たすことで、商品開発、販路開拓や備品・設備購入などに必要な経費の一部を助成。さらに、資格取得などの人材育成費用や法人化に必要な経費も補助対象になります。空き店舗を活用する場合には、店舗の改修に必要な経費と賃借料を補助率2分の1以内で市の定めた上限額まで補助を受けることができます。

創業者が増えても継続できなければ地域の活性化、雇用やにぎわいの創出にはつながりません。創業後もサポートセンターでの経営相談や補助金制度を活用して継続的に応援していきます。



ビジネスチャンス支援事業の創業支援の認定審査会では、事業計画の内容などを審査し、これまで10件認定



産業連携推進課
高橋紀元 産業戦略
専門監

地域資源を活用した 創業を全力でサポート

地方創生時代を迎え、これからの自治体は地域の強みをしっかり見極め、地域の課題を解決する独自の取り組みが求められています。本市の強みは環境保全や資源循環を特徴とする全国有数の農業生産基盤です。この強みを人口減少対策や活力ある地域づくりに生かしていくことが必要です。

市では、創業を応援する補助金制度を設け、市内農林産物の付加価値を高める6次産業化や、地域資源を活用した新たな需要や雇用を創出する創業支援をしています。

全力でサポートしますので、気軽にご相談ください。

■ビジネスチャンス支援事業の主な補助金メニュー

事業名	対象経費	上限額	補助率	
創業支援	創業支援事業	市内で創業する際の人件費、店舗借入費、設備費など	225万円	4分の3以内
産業支援	商品開発・商品力向上支援事業	食品加工品開発、広告費、パッケージ開発費など	50万円	2分の1以内
	マーケット開拓・人材育成支援事業	展示会への参加費、人材育成・資格取得費など	70万円	
	地域資源有効活用施設・機械整備支援事業	地域資源を活用した地域ビジネスに必要な経費など	200万円	
	まとまりステップアップ支援事業	事業体の組織化、法人化に必要な経費など	30万円	
	地産都商・輸出チャレンジャー支援事業	首都圏や海外への販路開拓に必要な経費など	200万円	

※ビジネスサポートセンターおよび補助金制度の詳細は産業経済部産業連携推進課(産業連携係)にお問い合わせください ☎0220(34)2549



夢を実現するために 広がる支援の輪

あらゆる場面でのサポートを可能にするため、各商工会や民間支援団体が、それぞれの立場で夢の実現を応援。市内で支援の輪が広がりを見せています。

**豊富な経験と知識を持つ
経営指導員が強い味方に**

市内には登米中央商工会、みやぎ北上商工会、登米みなみ商工会の3つの商工会があります。それぞれの商工会では、ワンストップ経営相談窓口として、創業希望者や事業者に寄り添った伴走型の支援をしています。

商工会には経営に関するあらゆる情報が集まります。その情報を生かして、「事業計画を作りたい」「資金を借りたい」「商品パッケージを新しくしたい」「確定申告について知りたい」など、会員でなくても相談することができます。

**基本的なことから実践まで
創業チャレンジセミナー**

登米市創業支援事業計画の策



創業チャレンジセミナーでは、参加者が考えを共有し、互いの意見を参考にしながら学ぶ
登米中央商工会 ☎0220(22)3681
みやぎ北上商工会 ☎0220(34)3255
登米みなみ商工会 ☎0220(55)2331

定に伴い、市内の商工会が合同で2014年から創業チャレンジセミナーを毎年開催。創業希望者を掘り起こし、雇用とにぎわい創出に取り組んでいます。

本年度セミナーを担当している登米みなみ商工会の佐藤さんは「創業に必要な財務、マーケティングなどの基本的な知識の習得や事業計画の作り方など、実践的なことを学んでもらいたいと考えています。会員でなくても参加できますし、どんなことをしたいのか決まっていなくても気軽に参加してほしい」と呼び掛けます。

「セミナーで知り合った人脈や学んだことを生かして、登米市での創業を実現させ、夢への第一歩につなげてほしいです」。

商工会では、地域経済の活性化やにぎわいを創出するため、一人一人に寄り添い、創業希望者や経営者と共に歩みを進めています。



登米みなみ商工会
佐藤 茂さん(52)

創造をカタチにする場所

**チャレンジを応援する場所
アルテラスおおあみ**

東日本大震災後、レンタル事務所を備え、創業者を育成して地域の課題を解決したいという思いから生まれたのが、迫町佐沼の大綱にある「コンテナおおあみ」です。

2015年には、創業希望者を応援するため「創造をカタチにできる場所」をコンセプトに「アルテラスおおあみ」を建設。チャレンジ

ショップやチャレンジカフェがあり、小規模での開業や試験販売に利用できます。チャレンジショップのもう一つのメリットは出店者同士の交流。出店者同士のコミュニケーションから新たなアイデアが生まれ、ビジネスにも発展しています。

コンテナおおあみでは、事務所や販売スペースのレンタルだけでなく、ビジネス情報の提供、各種セミナーやイベントの開催、首都圏との人材交流など幅広く活動。人と人のつながりを重視し、アルテラスおおあみを中心に活力ある地域づくりとにぎわい創出に取り組んでいます。



1月1万円からレンタルできるコンテナおおあみのレンタル事務所。打ち合わせは中央の共有スペースを利用できる2写真の場所は月2万円



3創業者のチャレンジを応援する場所「アルテラスおおあみ」4小さい規模でも出店できるチャレンジショップ5チャレンジカフェは設備がそろっており、短期での利用も可能
コンテナおおあみ ☎0220(44)4210



10月8日にコンテナおおあみが開催した創業スタートアップセミナー。一人一人の事業モデルを参加者全員で検討

チャレンジショップで始め ステップアップして移転オープン

Interview



珈琲工務店 店主
宇藤 美菜さん(33)

あったらいいなと思う空間をつくりたくて、2016年7月にカフェ「珈琲工務店」をチャレンジショップに出店しました。

規模を拡大して本格的にランチを始めたかったので、コンテナおおあみの隣にあった空き店舗を改装して

11月1日に移転しました。

チャレンジショップは小さい規模で出店できるので、創業に挑戦しやすい場所だと思います。

新しい店でも、今まで通り誰もが気軽に立ち寄り、安らぎながら交流できる場所にしたいと考えています。

学んだことを実践し、 開店に向けて進んでいきたい

Interview



石堂ファーム 代表
石堂 貴博さん(44)

現在は専業農家で、ニンニクを栽培しています。創業チャレンジセミナーに参加したのは、これまで生鮮の販売だけだったので、6次産業化に取り組み、加工品を開発して直売所を出店しようと思ったからです。商工会の皆さんには親身になって

相談に乗ってもらい、補助金制度も教えてもらったので助かりました。セミナーに参加し、自分がやろうとしていることの可能性の大きさを感じましたし、足りない部分も分かりました。学んだことを実践して開店の準備を進めていきたいです。



図BAKKE ☎050(3636)4030
https://bakke.jp/ja/

自然との共生 その魅力を 肌で感じてほしい

1 2 四季折々の豊かな自然と静寂の中でゆったりとした生活が満喫できる 3 日本の田舎暮らしや文化を体験できると外国人にも人気



田舎暮らしの 体験と交流の場に

創業者インタビュー②

東日本大震災がきっかけで登米市に移住し、東和町米川地区の地域おこし協力隊になりました。任期が終了してから、市の創業支援制度を活用し、空き家を借りて民泊施設「BAKKE」を始めました。

民泊施設を始めようと思ったのは、私がヨーロッパでファームステイやホームステイしながら旅をしていたときに、有名な観光地に行くよりも、その土地の文化や普段の生活を体験することがとても魅力的だと感じたからです。初めて登米市に来たときも、野菜や米を自給したり、山に行って山菜を採ったりと、豊かな自然と共存している生活がとても印象的で新鮮に感じました。

経理などは独学で、民泊に必要な住宅宿泊事業者の登録も自分でできましたが、集客には苦労し

ました。現在は、予約サイトに登録し、写真や説明文を工夫しながら集客に取り組んでいます。

BAKKEのコンセプトは田舎に滞在し、自然環境や文化を肌で感じてもらうことです。英語が少し話せたので、海外からの宿泊者も受け入れ、今年はアルゼンチンなど、海外6カ国の人が利用しました。また、一棟貸しで設備も整っているので、長期滞在も可能です。今後は、体験型の滞在プログラムやお試し短期移住を実施するなどして、地域の食や文化をもっと知ってもらいたいと考えています。

収入は多いわけではありませんが、この地域に貢献したいという思いがあるので、滞在者との交流会も開催しています。交流人口を増やすことで、地域の活性化につなげていきたいです。

BAKKE

浦田 紗智さん(38)

生まれ育ったまちを 元気にするために

石窯工房HAIJI

菅原 和哉さん(36)

創業者インタビュー①

以前は神奈川県箱根町の旅館で働きながら、イタリアンやフレンチを学んでいました。東日本大震災が発生したときに、地元を元気にしたいと思い、戻って創業することを決意しました。

飲食業がよかったので、地元の食材を使用した石窯ピザの移動販売をすることにしました。まずはセミナーに参加して創業のノウハウを学び、旅館でお世話になった人に相談しながら事業計画書を作成しました。市の補助金などを活用してキッチンカーを購入し、内装は自分で作り、石窯は特注で作ってもらいました。ピザの生地には、両親が育てた米を使用しています。米粉と小麦粉を自分でブレンドし、モチモチになるように工夫しました。

出店場所を探すのは苦労しましたが、以前移動

販売をしていた人に聞きながら出店場所を探しました。出店は不定期なので、フェイスブックで発信しながら、今では市内だけでなく市外のスーパーやイベントなどにも出店できるようになりました。去年は事業を拡大するため、妻と協力しながらパンの製造を始め、愛菜館などで販売しています。

創業して感じることは、どうすればお客さんに喜んでもらえるかを考えることが大切だということです。多くの人に喜んでほしいという思いから、出張ピザ教室やホームパーティーなどでのケータリングサービスも始めました。

これまで大変なこともありましたが、今ではたくさんの人と出会い、喜んでもらえることが何よりの生きがいになりました。

多くの喜びを 届けられる 存在になりたい

1 市外でも認知度が高いキッチンカー 2 石窯は高温で焼けるので表面はカリッと中はモチモチに仕上がる 3 パンは愛菜館でも人気の商品。火、木、金、土曜日に販売



図石窯工房HAIJI ☎080(9019)6856
https://www.facebook.com/haiji.isigama/

人生を楽しむ手段に――

「創業」は、自分の好きなことや趣味を仕事にするための手段です。創業の今と大切なことについて、市が連携を始めた宮城県よろず支援拠点の佐藤創さんに話を聞きました。

インターネットの普及で 創業しやすい時代に

「創業」と聞くと、難しくて自分にはできないと諦めている人が多いと思います。確かに以前は、創業するために仕事を辞め、資金を集めて法人を設立するといったように、難しいものでした。

現在は、インターネットの普及に伴い、ハードルは一気に低くなりました。例えば、趣味で小物を作ったとしたら、インターネットがあればお金をかけずに販売することができず、誰でも簡単に創業できる時代になったのです。創業したいという人は、何かしたいけどはつきりしない人、何をするかは決まっている人、事業計画を作った人の3段階に分けられます。事業計画を作らないと相談

できないと思っている人もいますが、そうではありません。相談は早いほうがいいのです。

「何をしたいかわからない」 答えは自分の中にある

創業したいけど何をしたいかわからないという場合、答えはその人の中に隠されています。仕事に対する価値観や仕事のキャリアなどを見つけて一緒に考えます。マーケティング、事業計画の作成や資金調達など、どれも大切なことです。専門家に相談しながら進めることでリスクが減り、より良い答えを見つけられると思います。まずはセミナーなどに参加し、分からないことがあればどんなことでも相談することが大切です。

段階を踏みながら前進していけるように全力でサポートします。

無限に広がる可能性 誰にでもチャンスはある

収入を増やすために創業する場合もありますが、私は仕事を楽しくし、人生を豊かにする手段だと考えています。誰にでも、どこにいても、何歳でもチャンスがあります。そして、その可能性は無限に広がっているのです。

宮城県よろず支援拠点
チーフコーディネーター
佐藤 創さん

1977年生まれ。産業能率大学卒。仙台市の情報サービス企業に入社し情報処理システム開発に従事。14年に中小企業診断士として登録し、経営コンサルティング会社クリエイティブファーストを設立する。

このまちで生き、 このまちで活かす

11月1日、移転してリニューアルオープンした珈琲工務店に入ると、お客さんと楽しそうに会話する宇藤さんの姿がありました。店内には笑い声が響き、そこにはにぎわいが生まれていました。

自分のしたいことを仕事にして生活する。それは簡単なことではないかもしれませんが、そのために必要なことは、まず相談してみることです。具体的に考えがまとまっていなくても、頑張ろうとするあなたの味方になり、サポートしてくれる人がたくさんいます。創業しても思い通りにいかず、苦労もあるかもしれませんが、今回取材した人たちは、それ以上に心の豊かさがあると話します。

にぎわいのある場所には人が集まり、新しいアイデアが生まれ、やがては地域の活力につながります。あなたの経験や趣味を活用し、新しい人生の一步を踏み出してみたいかがでしょうか。



令和元年台風第19号

市内の被害状況と災害支援情報



2019年10月12日に日本に上陸した台風19号が、全国に大きな被害をもたらしました。10月29日現在、死者は88人、行方不明者が7人、71河川、140カ所が決壊し、住宅被害は7万9600棟以上に及んでいます。

市内でも死者1人が出たほか、2人が骨を折るなどして負傷。被害が大きかった津山、東和町域をはじめ、311棟の住家が被害を受けました。住家以外にも、雨の影響で土砂崩れや道路が損壊し通行止めになるなど、市内各所に大きな傷跡が残りました。

市は、10月12日午後1時に、特別警戒本部を設置。避難所の設置や情報収集、被災者の対応などに当たりました。市内17カ所に設置した避難所には、464世帯、969人が避難。16日には、登米市福祉協議会が登米市ボランティアセンターを立ち上げました。被災地では、一般ボランティアをはじめ、市内の小中高生や社会福祉協議会、栗原市、南三陸町の職員など、計724人(10月29日現在)が復旧作業に尽力。土砂や使えなくなった家電の運搬、家財の清掃などを手伝いました。

現在は、道路通行止めの原因になっている崩れた土砂の撤去や陥没した道路の復旧作業などを進めています。完全復旧までにはまだ時間が必要ですが、市では被災した皆さんが1日でも早く元の安心した生活に戻れるように、関係機関と連携を取りながら復旧に取り組んでいきますので、市民皆様のご理解、ご協力をお願いします。

改めて災害に向けた備えを

市では、災害などの緊急情報をメール配信サービスや防災行政無線、市公式ホームページ、コミュニティFMなどを通じてお知らせしています。事前に洪水ハザードマップで避難所への経路を確認するなど、自分で身を守る行動が取れるよう日頃の備えが大切です。

市メール配信サービス



防災、防犯、市の行事などを登録されたメールアドレスに随時配信。パソコン、携帯電話、どちらでも登録可能です。登録URL: <https://mail.cous.jp/tomecity/>



緊急告知ラジオ

確実に緊急情報が届けられるよう、緊急告知ラジオを市内全ての世帯に1台ずつ無償で貸与しています。緊急時には、ラジオが自動的に起動し、はつとエフエムを通じて、緊急情報を放送します。通常時は電池を入れ、コンセントにつないでご利用ください。



H@FM(はつとエフエム)

各種市政情報を定刻に放送。災害や犯罪などの緊急時には、番組の途中でも随時情報を放送します。H@FM周波数: 76.7MHz



市公式ホームページ

災害時における避難情報や避難所の開設に関する情報のほか、洪水ハザードマップや各種防災情報をご覧ください。URL: <https://www.city.tome.miyagi.jp/>

警戒レベル4で全員避難

水害や土砂災害発生の危険が高まったときに、危険度が分かりやすいように、避難情報と避難行動の対応を明確にした5段階の警戒レベルが設定されました。警戒レベル3または4が発令されたときは、地域の皆さんで声を掛け合って、安全・確実に避難しましょう。

警戒レベル	避難行動	避難情報	発表元
5	既に災害が発生しています 命を守るための最善の行動をしてください	災害発生情報	登米市
4	速やかに避難所へ避難してください 避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう	避難勧告 避難指示(緊急)	登米市
3	避難に時間がかかる高齢者などの要配慮者は避難を開始してください その他の人は避難の準備をして自発的に避難をしてください	避難準備・高齢者等避難開始	登米市
2	避難場所や避難経路の再確認をするなど、避難に備え自らの避難行動を確認してください	洪水注意報 大雨注意報など	気象庁
1	防災気象情報等の最新情報に注意するなど、災害への心構えを高めてください	早期注意情報	気象庁

※避難対象地区と開設する避難所を防災行政無線などでお知らせしますので、早めの避難を心掛けてください
※避難情報が出されていなくても危険を感じたら、自主的に避難してください

【問い合わせ】総務部防災課(防災危機対策係) ☎0220(22)2130

被災者支援情報

被災した皆さんの災害復旧に役立てていただくため、「被災者支援情報」の主な内容を取りまとめましたので、ご活用ください。

住家の被害程度を証明 罹災・被災証明書を発行

罹災証明書

風水害、地震などで被災した住家の被害程度を証明するものです。全壊、大規模半壊、半壊、一部破損などの区分で被害の程度を証明します。※市の職員が現地確認をするため、期間を要する場合があります。

【使用例】被災者支援制度の申請、損害保険の請求など

【被災証明書】住家以外の家屋や土地、塀、門扉などの付帯物、備品、家具、動産(車ほか)などに被害を受けた事実を証明します。必要書類が整っていれば即日交付可能です。

固定資産税を減免

被害状況により、被害を受けた物件の税額のうち、固定資産税4期分を減免します。【対象者】所有する固定資産が、次のような損害を受けた人▼土地・宅地、農地が土砂

の堆積、流出、陥没などにより土地本来の効用を果たせなくなったとき(冠水のみの場合)は対象となりません)▼家は当該家屋が半壊以上の損害を受けたとき▼償却資産▶当該償却資産の価格の10分の2以上の価値を減じたとき

※申請には罹災証明書または被災証明書が必要です。詳細は問い合わせください。【問い合わせ】総務部税務課(固定資産税係) ☎0220(22)2163

水道料金・水道使用料を減免

床上、床下浸水の被害を受けた人を対象に、家屋の洗浄などのため、通常の月より多く使用した水量について、使用料金を減免します。対象者には、11月下旬に減免申請の通知を送付しますの

で、手続きください。 ※減免の対象など、不明な点は、問い合わせください。【問い合わせ】水道事業所水道管理課(業務係) ☎0220(52)3311

▼建設部下水道課(事業管理係) ☎0220(34)2359

保育料 一時保育利用料を減免

【減免期間】被災した月の翌月から1年以内
【申請期限】令和2年1月31日(金)まで

対象者		減免割合	
所有または居住する住宅が罹災証明書により、全壊・大規模半壊または半壊と判定された世帯の保護者	全壊	全額	
	大規模半壊	2分の1	
	半壊	2分の1	
生計維持者の死亡、長期入院などにより著しい収入減があった世帯の保護者		状況により支援内容が異なりますので、問い合わせください	

対象者および減免割合

【申請に必要なもの】利用者負担額減免申請書(保育料減免の場合)、一時保育利用料減免申請書(一時保育利用料減免の場合)、罹災証明書(写し可)、印鑑、離職証明書など
【申請書提出先】最寄りの総合支所市民課に申請ください
【問い合わせ】福祉事務所子育て支援課(子ども保育係)

復旧資金貸し付けなど 生活福祉支援制度

災害援護資金
被害程度に応じ、災害援護資金を貸し付けます

区分	世帯主に1カ月以上の負傷がある場合	世帯主に1カ月以上の負傷がない場合
	世帯主の負傷のみ	150万円
家財損害が3分の1以上	250万円	170万円
住居が半壊した場合	270万円	250万円
住居が全壊した場合	350万円	350万円
住居が滅失、流失した場合	350万円	

貸付限度額

【対象】災害により次のいずれかの被害を受けた世帯の世帯主①世帯主が負傷し、その療養に要する期間が1カ月以上の場合②家財の被害金額が、その家財価格のおおむね3分の1以上の損害である場合③

罹災証明書の判定が住居の半壊または全壊である場合④住居全体が滅失もしくは流失した場合

所得制限	前年の総所得額の合計額	
世帯員数	1人	220万円
	2人	430万円
	3人	620万円
	4人	730万円
	5人以上	1人ごとに30万円を加算

※世帯員の市民税における前年の総所得額の合計が、上記の合計額を上回る場合は、対象になりません

【償還期間】10年(据え置き期間3年、返済期間7年)

【償還方法】年賦、半年賦、月賦のいずれか

【利率】▼保証人有り▶無利子

▼保証人無し▶年1.5%

【申請に必要なもの】災害援護資金借入申込書、所得等調査同意書、罹災証明書

※必要に応じて診断書などの提出が必要な場合があります

【申請期限】令和2年1月31日(金)

障害福祉サービス利用料を 猶予

被災した人が障害福祉サービスを利用した場合の負担金を猶予します

【対象者】①罹災証明書により

全壊、大規模半壊または半壊と判定された人②主たる生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った場合③主たる生計維持者が行方不明の場合④主たる生計維持者が業務を廃止または休止した場合⑤主たる生計維持者が失職し、現在収入が無い場合

※受給証が無くても利用可能

被災者生活再建支援金

住家の被害程度と再建方法に応じ、支援金を支給します。【対象者】①住家が全壊、大規模半壊した世帯②半壊し、やむを得ず住家を解体した世帯【申請に必要なもの】対象者に通知します。支給額、申請方法など、詳細は問い合わせください

【申し込み・問い合わせ】

▼福祉事務所生活福祉課(福祉総務係・障害福祉係) ☎0220(58)5552

▼各総合支所市民課

生活福祉資金

低所得世帯や障がい者、高齢者が同居する世帯に対し、資金を貸し付けます

【対象者】被災した低所得世帯、障がい、高齢者がいる世帯で、災害援護資金制度に該当しない世帯

※自動車の水没などによる修理、買い換えも対象です

【返却期間】1年以内(猶予期間2カ月を含む)

【限度額】150万円

【利率】▼保証人有り▶無利子

▼保証人無し▶年1.5%

【返済期間】7年以内(据え置き期間は貸付後6カ月以内)

【申請に必要なもの】罹災証明書、被災証明書、現況が分かる書類や写真、見積書など

緊急小口資金の特例貸付

災害により被害を受け、当面の生活費を必要とする世帯に対し、小口資金を貸し付けする制度です。【対象者】被害を受けた人で、当面の生活費を必要とする世帯 ※連帯保証人不要

【限度額】10万円(特に必要と認められる場合は20万円)

【利率】無利子

【返済期間】3年以内(据え置き期間は貸付後1年以内)

【申請期間】当面の間

※詳細は問い合わせください

【申請に必要なもの】罹災証明書、被災証明書など

生活安定資金

低所得世帯に対し、無利子で資金を貸し付けます

【対象者】低所得者で、1年以上市内に居住する世帯 ※連帯保証人必要

【限度額】5万円

【利率】無利子、無担保

【返済期間】1年以内(猶予期間2カ月を含む)

応急仮設住宅、 住宅の応急修理制度

【申請に必要なもの】罹災証明書、被災証明書など

【申し込み・問い合わせ】登米市社会福祉協議会 ☎0220(21)6310

▼各登米市社会福祉協議会支所

応急仮設住宅制度

自らの住居に居住できない人に2年間まで応急仮設住宅を提供します

【対象】罹災証明書で全壊、大規模半壊、半壊の判定を受けた人で、住居に居住することができない人

※住宅の応急修理制度と併用はできません

※光熱水費、駐車場代は入居者負担です

応急修理制度

被災し、自らの資力では修理できない人を対象に、一定の範囲内で応急修理をします

【対象】罹災証明書で全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊(半壊)の判定を受け、住宅を修理すれば居住が可能になり、避難しなくて済む場合で資力が十分でない世帯

※応急仮設住宅制度と併用はできません

NHK放送 受信料を免除

【対象】市内の半壊または床上浸水以上の被害を受けた建物の放送受信契約 ※免除には「放送受信料免除申請書」が必要です。配布方法など詳細は問い合わせください

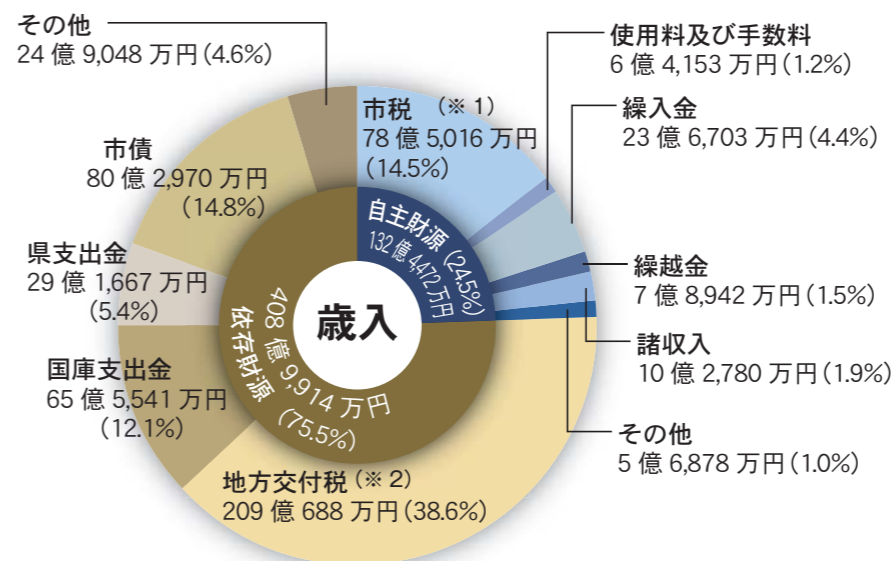
【免除対象期間】10、11月分

【問い合わせ】仙台拠点放送局 営業推進部(みやぎ営業) ☎022(211)1042

決算報告

市は、市の財政状況を随時皆さんにお知らせしています。皆さんが納めた税金が、この1年間でまちづくりにどう使われたのか、一般会計を中心に、概要をお知らせします。

一般会計歳入総額 541億 4,386万円



(※1) 市民税 34億 3,831万円(6.3%)、固定資産税 35億 2,119万円(6.5%)、軽自動車税 2億 9,917万円(0.6%)、市たばこ税 5億 9,084万円(1.1%)、水利地益税 65万円(0.0%)
 (※2) 普通交付税 154億 4,622万円(28.5%)、特別交付税 11億 3,952万円(2.1%)、震災復興特別交付税 43億 2,114万円(8.0%)

■表1 会計別決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	541億 4,386万円	528億 1,273万円	13億 3,113万円
特別会計			
国民健康保険	94億 2,928万円	91億 1,240万円	3億 1,688万円
後期高齢者医療	8億 5,616万円	8億 3,707万円	1,909万円
介護保険	100億 7,932万円	97億 3,514万円	3億 4,418万円
土地取得	1億 5,714万円	1億 5,713万円	1万円
下水道事業	47億 1,570万円	46億 2,724万円	8,846万円
宅地造成事業	2億 4,009万円	2億 3,361万円	648万円
企業会計			
水道事業	26億 137万円	24億 4,609万円	1億 5,528万円
病院事業	12億 5,015万円	22億 6,380万円	△ 10億 1,365万円
老人保健施設事業	70億 2,125万円	76億 1,150万円	△ 5億 9,025万円
	30億 7,118万円	30億 7,187万円	△ 69万円
	4億 291万円	4億 4,534万円	△ 4,243万円
	6,170万円	6,141万円	29万円

■表2 平成30年度決算に基づく健全化判断比率

指標名	内容 (標準財政規模に対する割合)	健全化判断比率	基準値(平成30年度)	
			早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	一般会計の赤字額の大きさ	-	11.96	20.00
② 連結実質赤字比率	公営企業会計を含む赤字額の大きさ	-	16.96	30.00
③ 実質公債費比率	借金の返済に充てた額の大きさ	7.4	25.0	35.0
④ 将来負担比率	将来負担すべき借金などの大きさ	95.7	350.0	-

地方交付税などの 依存財源が約75%

30年度一般会計歳入決算額は541億4,386万円、その内訳は、地方交付税が209億6,888万円(歳入全体の38.6%)、市税が78億5,016万円(同14.5%)、国庫支出金が65億5,541万円(同12.1%)となつています。

新登米懐古館などの整備やシテイプロモーション事業を実施
 平成30年度一般会計歳出決算額は、528億1,273万円となりました。主な事業として、継続事業である一般廃棄物第二処理施設(グリーンセンター)や登米懐古館、認定こども園の整備に加え、市道や上下水道など、生活基盤の整備について計画的に実施しました。
 さらに、少子高齢化の進展に伴う介護や福祉、子育て支援対策事業や、市の魅力を市内外に向けて情報発信するシテイプロモーション事業についても積極的に取り組みました。

財政健全化の目安 全基準値をクリア

1%などとなっています。このうち、市税など自主財源の合計は132億4,472万円、歳入全体の24.5%、残りの75.5%が地方交付税や国庫支出金などの依存財源といわれるものです。この依存財源の割合が高いことから、国や県などの影響を受けやすい財政基盤となつています。
 財政の健全化判断比率は、自治体の財政破綻を未然に防ぐために制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算出されています。
 30年度の各指標は、全て基準値を下回り、クリアしていますが、将来負担比率については、県内市比較で高い水準になっています。また、病院事業会計の資金不足比率が18.9%となつています。

平成30年度 歳出決算額を市民一人当たりで見ると… 66万 5,005円

住民基本台帳人口 79,417人
(平成31年3月末人口)

総務費 6万 5,998円
 行政の運営、庁舎や財産の維持管理などに使われる経費



民生費 16万 6,768円
 赤ちゃんからお年寄りまで幅広い福祉の充実などに使われる経費



衛生費 14万 5,218円
 保健衛生、健康づくり、ごみ対策などに使われる経費



農林水産業費 3万 7,642円
 農業や畜産などの振興と育成のために使われる経費



土木費 5万 2,552円
 道路や公園などの整備に使われる経費



消防費 2万 4,469円
 火災や自然災害などの防災活動のために使われる経費



教育費 6万 3,672円
 学校などの整備や教育振興に使われる経費



公債費 8万 6,136円
 借り入れた市債の元利償還費などに使われる経費



その他 2万 2,550円
 議会費・労働費・商工費・災害復旧費など



【問い合わせ】企画部財政課
 ☎0220(22)2159

市産食材で食を学ぶ 食のプロによる料理教室

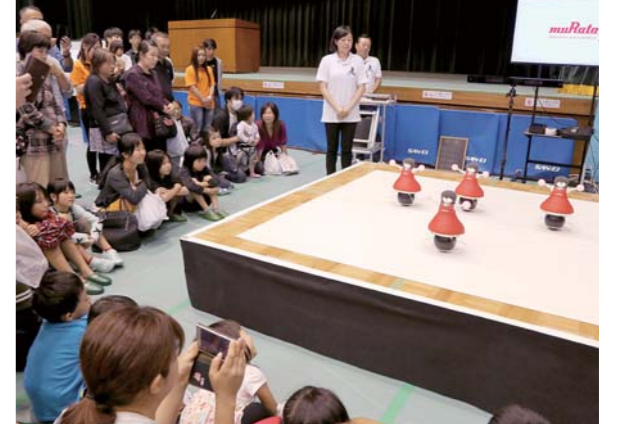
「味覚のアトリエ」は10月20日、石森ふれあいセンターで開かれ、市内外から21人が参加しました。1990年にフランスで始まった味覚の教育活動「味覚の一週間」。日本では2011年から活動が始まり、全国各地でさまざまな取り組みが実施されています。その一環として、「フレンチ割烹ドミニク・コルビ」オーナーのドミニク・コルビ氏による料理教室「味覚のアトリエ」が本市で開催。参加した加藤静枝さん(44)＝追町江合＝は「あえて生のタマネギを入れて食感を出すなど、五感を意識した調理を学びました。カフェで料理を作っているの、参考にしたい」と感想を述べました。



参加者は市産食材をふんだんに使ったフランス料理から、味わうことの大切さや食べることの楽しさを学んでいました。

モノづくりへの挑戦 産業フェスに企業が集結

「第15回登米市産業フェスティバル」が10月6日、迫体育館と迫中江中央公園を会場に開かれ、約1万1千人の来場者でにぎわいました。体育館内には、電子部品や食品加工など、市内企業の製品が展示され、研究と挑戦を重ね続ける自社技術の紹介やデモンストレーションが披露されました。屋外では、市内の特産品やはっと、油麩井などの飲食コーナーが設けられ、来場者は舌鼓を打ちました。土田美貴さん(37)＝栗原市＝は「身近なものや最先端の技術が、登米市内に数多くあることに驚きました。未来に向けて発展し続けてほしいですね」と期待を込めていました。



村田製作所が開発したロボット「チアリーディング部」のかわいいうるさきに、来場者は終始目を奪われていました。

未来の登米市に向け 子供議会で中学生が議論

「子供議会2019」(とめ青年会議所など主催)は10月22日、市役所議場で開かれ、市内10校から選ばれた20人の中学生が議員となって、市長らと議論を交わしました。子供議員は「学生が学習に集中できる環境整備をしてほしい」「交流人口を増やすイベント作りが必要」など、普段の生活の中で感じていることを質問しました。議長を務めた古内琴さん＝中田中2年＝は「登米市をもっといいまちにしたいという気持ちを話すことができて、とてもいい経験になりました。これからは機会を見つけて、自分たちの意見を提言していきたいです」とまちづくりへの意識を新たにしていました。



「はい、議長」。挙手をして、議長から発言の許可を受ける子供議員。まちの未来のために、真剣に意見や要望を発言しました。

芭蕉の跡に思いはせ おくのほそ道の軌跡知る

「おくのほそ道ツアー」(浅水ふれあいセンター主催)は10月19日、登米市内で開かれ、12人の参加者が市内に残る松尾芭蕉行脚の軌跡をたどりました。参加者は、柳津虚空蔵尊や芭蕉一宿之跡など北上川沿いを中心に、芭蕉が巡った13カ所のスポットについて解説を聞きながら見学。この地に残る偉人の足跡に思いをはせながらツアーを堪能しました。大畑典子さん(67)＝中田町長谷＝は「昨年、おくの細道の本を読んで松尾芭蕉に興味を湧き、今回初めて参加しました。芭蕉のこと以外にも北上川などの地元の歴史がたくさん知れて勉強になりました」と話していました。



案内人を務めた酒井哲雄さんは「芭蕉がたどった歴史が登米にあることをたくさんの人に知ってほしい」と思いを語りました。

活性化と雇用期待 企業誘致で工場立地協定

「牧野精工の登米市への立地に関する協定式」は10月29日、市消防防災センターで開かれ、市は県(鈴木秀人経済商工観光部長)と牧野精工(牧野洋一代表取締役社長)と新工場進出の立地協定を結びました。同社は、大阪府に本社を置き、建設機械などの油圧機器の部品を製造・販売する企業で、豊里町内の工場跡地を利用して東北へは初進出。協定書には、工場の改修や事務手続きの支援、地元の雇用配慮することなどの内容が盛り込まれています。熊谷盛廣市長は「県や関係機関と連携しながら支援していきたい。地域に根ざした企業として発展してほしい」と期待を寄せました。



牧野社長(中央)は「来年3月の操業予定で、高校生の採用も進んでいる。徐々に製造規模を拡大していきたい」と話しました。

会話と買い物楽しむ 東北最大佐沼秋のフリマ

「第23回佐沼秋のフリーマーケット」(登米中央商店会協同組合主催)は10月20日、迫中江中央公園などで開かれ、約3万5千人が来場しました。市内外から450のブースが出店。自衛隊や警察による体験コーナーや佐沼小・中学校による吹奏楽などが披露され、会場はにぎわいました。出店した高橋由紀子さん(68)＝追町鉄砲丁＝は「登米市を盛り上げようと、4月に女性たちによる『九重会』を結成し、その仲間たちと出店しました。フリマは会話しながら販売するのが楽しいですが、ほかのお店を回って買い物できるのも魅力ですね」と笑顔を見せていました。



来場者は懐かしい商品を見つけると、出店者と思い出話に花を咲かせていました。

障がいに関するマーク
どれくらい知っていますか

- 1. 障がい者のための国際シンボルマーク**
障がい者が利用できる建物や施設であることを表す世界共通のシンボルマーク。車いす利用者だけでなく、全ての障がい者を対象としています。
- 2. 聴覚障がい者標識（聴覚障害者マーク）**
聴覚障がいによって運転免許に条件のある人が車に表示するマークです。
- 3. 盲人のための国際シンボルマーク**
視覚障がい者の安全を考えた建物や設備に付けられている世界共通マークです。
- 4. オストメイトマーク**
オストメイト（人工肛門、人工ぼうこうを使用している）であることやオストメイト用の設備があることを示すマークです。
- 5. ヘルプマーク**
支援や配慮が必要なことを周囲の人に伝えるためのマークです。身体・療育・精神障害者保健福祉手帳所持者、難病の人、妊娠初期の人、その他支援を必要とする人が使用しています。
- 6. ハート・プラスマーク**
身体内部（心臓、呼吸機能、じん臓、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫機能）に障がいのある人を表すマークです。

Information 04
障がいの理解を深める
「障害者週間」

12月3日から9日までは「障がい者週間」です。障がい福祉について関心と理解を深め、障がい者の社会参加意欲を高めるための期間です。

市では、「ともに支えあうまち」の実現を目指して「障がい者週間」です。目標の実現には、障がいについて関心・理解が必要不可欠です。

左記のマークは障がいに関するマークの一例です。

これらのマークを付けた人を見つけた場合は「お困りですか」「お手伝いしましょうか」などの声掛けや配慮をお願いします。

「ともに支えあうまち」と「め」をみんなで実現しましょう。

【問い合わせ】福祉事務所生活福祉課（障害福祉係）
☎0220(58)5552

Information 01
はつとで「はつと」
はつとフェスティバル

市内外各地から「はつと」するはつと料理が勢ぞろいします。ステージでは、はつと踊りやよさこいなどの演出があるほか、会場には姉妹都市である富山県入善町からジャンボール3世が友情出演。みやぎ応援ポケモン「ラプラス」も登場します。この会場でしか食べられない味もありますので、ぜひお越しください。

【日時】12月1日（日）午前10時～午後2時
【場所】迫中江中央公園（市役所迫庁舎前）
【問い合わせ】第16回日本一はつとフェスティバル実行委員会事務局
登米市観光物産協会
☎0220(52)4648

▼産業経済部商業観光課（観光物産係）
☎0220(34)2734



Information 02
クリーンセンターが
移転します

平成25年度から移転新築を進めていた、新クリーンセンターでのごみの受け入れを12月2日から開始します。移転に伴い、今までのクリーンセンターは11月30日で稼働を停止しますので、ご注意ください。

新しいクリーンセンターに設備した「エネルギー回収推進施設」では、ごみの焼却で発生した熱エネルギーを利用して発電し、その電力を施設の運転などに使用します。

また「マテリアルリサイクル推進施設」は、燃やせないごみ・不燃性粗大ごみ・可燃性粗大ごみの中から鉄やアルミなどの資源物を回収して再資源化できる施設です。

■主な変更点
▼車両の計量器を入口と出口の2カ所に設置します
▼ごみ処分手数料は、自動精算機での支払いになります
▼死亡した小動物の焼却専用

炉を併設します
■新クリーンセンターの住所
登米市豊里町笑沢153-22
【問い合わせ】環境事業所クリーンセンター
☎0225(76)0102



Information 03
契約を結ぶ参考に
農地の賃借料情報

過去1年間（平成30年8月～令和元年7月）の農地の賃借料情報をお知らせします。農地の賃借借契約を結ぶ場合は、この情報を参考に、貸し手と借り手の双方で協議してください。

【問い合わせ】農業委員会事務局（農地管理係）
☎0220(34)2317

※親類間などの特殊な賃借借契約は除いています
※物納の場合は1俵12,000円の計算です
※畑は提供できる賃借料情報が少ないため、地域区分を市全体としています

■賃借料情報【田(水稲)】
【基盤整備地域】
(10㍏当たり、100円未満四捨五入)

地域	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数(件)
迫	15,100	20,000	8,000	239
登米	15,200	19,000	10,000	26
東和	15,400	18,000	5,000	5
中田	15,700	24,000	5,000	620
豊里	14,700	20,000	10,000	93
米山	15,600	25,000	10,000	431
石越	15,200	21,000	10,000	74
南方	15,000	22,000	6,000	372
津山				少数
登米市	15,400			1,861

■賃借料情報【畑】
(10㍏当たり、100円未満四捨五入)

地域	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数(件)
登米市	13,600	20,000	6,400	37

Information 05
畜産農家の技術が高評価
宮城県総合畜産共進会

令和元年度宮城県総合畜産共進会は9月、出品部門ごとにそれぞれ開催されました。審査の結果、登米市から出品した牛や豚が各部門で数多く上位に入賞。肉用牛と肉豚の両部門で団体賞を受賞するなど、生産者の畜産技術が高く評価されました。各部門の入賞者は次の通り（敬称略。最優秀賞までを掲載）。

■肉用牛の部
○第1区【若雌の1（14カ月以上17カ月未満）】最優秀賞2席 小野寺正人（迫）▼最優秀賞3席 佐々木昌典（豊里）
○第2区【若雌の2（17カ月以上20カ月未満）】最優秀賞2席 船島一芳（中田）
○第3区【経産（経産牛）】最優秀賞1席 石川信喜（南方）▼最優秀賞5席 N・O・A（中田）

■肉豚の部
○第1区【ミヤギノクロス三元交雑種（180日以内）】名誉賞、農林水産大臣賞、宮城県知事賞、最優秀賞3席 ピング夢ファーム（豊里）
○第2区【第1区以外の肉豚（220日以内）】最優秀賞 伊豆沼農産（迫）
○団体賞 登米地区

○第7区【3歳未満】最優秀賞3席 鈴木貴博（南方）
【問い合わせ】産業経済部農産園芸畜産課（畜産振興係）
☎0220(34)2713

○特別賞▼前駆賞（第1区若

○東北農政局長賞（第3区 経産）石川信喜（南方）

○東北農政局長賞（第3区 以上）▼最優秀賞1席 登米市牛育種組合 粕谷邦夫（中田）、N・O・A（中田）

○第4区【高等登録群（14カ月以上）】最優秀賞1席 登米市牛育種組合 粕谷邦夫（中田）、N・O・A（中田）

○特別賞▼前駆賞（第1区若



東北農政局長賞を受賞した「よし号」と石川信喜さん



12月の献血日程

1日(日)
▶ 迫中江中央公園
(第16回日本一はっと
フェスティバル会場内)
10:00 ~ 11:30
12:30 ~ 16:00



※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市公式ホームページをご覧ください。下記にお問い合わせください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(健康推進係)
☎ 0220(58)2116

自殺予防
仙台いのちの電話
誰にも言えない気持ち
聞かせてください。
☎ 022(718)4343

ひきこもり
ひとりで悩まないで
宮城県ひきこもり地域支援センター
☎ 0229(23)0024

こども夜間安心コール

●電話番号
8000
(プッシュ回線の固定電話、
携帯電話から)
☎ 022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電
話、PHSから)
●相談時間
毎日午後7時~翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の
番号です(24時間対応)
☎ 0229(24)2267

**宮城いきいき学園
4月入学生募集**

【対象】60歳以上の県内在住者
【場所】①仙南校 ②大崎校 ③石
巻校 ④気仙沼・本吉校 ⑤登米・
栗原校

【募集人員】各校40人
【学習日】年間21日(2学年制)
【内容】生きがいと健康づくりに
を指し、地域貢献に必要な
知識を身に付けます
【募集期間】12月1日(日)~令
和2年2月29日(土)
【受講料】年間2万円(別途入
学金5千円)
【申込方法】社会福祉協議会に
備え付けの申込書に、必要事
項を記入の上、申し込みくだ
さい
※申込書は、宮城県社会福祉
協議会ホームページからもダ
ウンロードできます
【申し込み・問い合わせ】宮城
県社会福祉協議会いきがい健

康課
☎ 022(225)8477

**運動について考える
スポーツ講演会開催**

生涯スポーツに取り組み
きっかけづくりと健康で明る
い登米市を目指し、スポーツ
講演会を開催します。
【日時】12月15日(日)午後2時
(午後1時開場)
【場所】中田農村環境改善セン
ター
【講師】鍛山矩幸氏(鍛山部屋
師匠/元関脇寺尾)
【演題】「私の相撲人生」
【定員】300人
【入場料】無料(要整理券)
【整理券配布場所】市教育委員
会生涯学習課、各総合支所、市
内各総合型地域スポーツクラ
ブ、各地区体育協会
【問い合わせ】登米市体育協会
☎ 0220(34)7302

12月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当・予約先
6 ㊟	東和総合支所 13:30~15:30 精神保健福祉士・臨床心理士 ☎0220(53)4113(東和総合支所)
13 ㊟	津山ふれあいセンター 13:30~15:30 医師 ☎0225(68)3114(津山総合支所)
17 ㊟	南方保健センター 13:30~15:30 医師 ☎0220(58)2113(健康推進課)
18 ㊟	迫保健センター 9:00~11:00 臨床心理士 ☎0220(22)5554(迫総合支所)

精神科医師などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日曜日(土日、祝日を除く)まで、各予約先まで申し込みください。

登米市民病院小児科日曜日救急診療
●診療時間 9:00~17:00
(受付16:30まで)
【問い合わせ】登米市民病院
☎0220(22)5511

12月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
1 ㊟	豊里病院(豊里町) ☎0225(76)2023	豊里病院歯科(豊里町) ☎0225(76)2023
8 ㊟	小出医院(登米町) ☎0220(52)2303	登米中田佐藤歯科クリニック (中田町) ☎0220(34)4888
15 ㊟	佐藤医院(豊里町) ☎0225(76)3420	グリーンヒルズデンタルクリ ニック(中田町) ☎0220(44)4611
22 ㊟	おおたにおたにクリニック (中田町) ☎0220(35)1161	プレミア歯科(南方町) ☎0220(23)2038
29 ㊟	新田診療所(迫町) ☎0220(28)3398	まつお歯科医院(迫町) ☎0220(28)2311
30 ㊟		中江歯科クリニック(迫町) ☎0220(22)7767
31 ㊟	上杉皮膚科医院(迫町) ☎0220(21)1380 大坂医院(中田町) ☎0220(34)6625	布施歯科医院(迫町) ☎0220(22)2048

●診療時間 9:00~17:00
【休日急患当番医】
●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267(24時間)
●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511
【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084
※月~金曜日(休日を除く)
【歯科休日当番医】
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

登米市の公共施設

⑧仙台学寮の利活用のアイデアを募集

~市民の皆さんと未来の公共施設を一緒に考えるため、公共施設の再編についてシリーズで紹介しています~

市では次世代に負担を残さない効果的・効率的な公共施設などの在り方を実現するため、施設の延べ床面積を2015年から35年までの20年間で、25%縮減することや、公民連携による民間活力導入を検討しています。

仙台学寮は67年間、学生のために役割を果たしてきましたが、施設設備の老朽化や社会情勢の変化などにより、3月に閉寮しました。市では、閉寮した仙台学寮敷地の立地条件を生かしたアイデアを募集します。

■対象施設

【住所】仙台市青葉区堤町一丁目5番地26

【建築年月】1981年7月



仙台学寮外観



仙台学寮内観

【施設構造】鉄筋コンクリート造2階建

【延床面積】487.80㎡

■意見の提出方法

「仙台学寮利活用アイデア応募用紙」に必要事項を記入のうえ、下記の場所に設置した受付ボックスまでご提出ください。

【応募用紙、受付ボックス設置場所】各総合支所、各公民館

※ファクシミリやEメール、市公式ホームページでも受け付けます

※いただいた意見に対し、個別の回答はしませんのでご了承ください

【応募期限】12月20日(金)

【問い合わせ】

総務部総務課(財産係)

☎0220(22)2091

FAX0220(22)3328

〒987-0511

登米市迫町佐沼字中江2-1-6

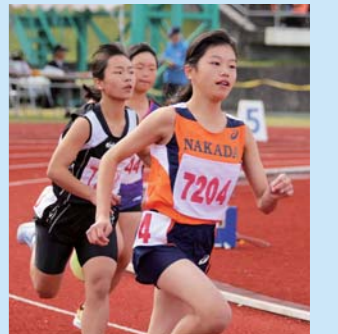
✉somu-somu@city.tome.

miyagi.jp

中学校新人総合体育大会
(陸上競技)10月17日
築館総合運動公園陸上競技場

【100歳1年男子】①渡谷運太(南方)12秒44 ②三塚裕和中田 ③上野竜平(佐沼)
【100歳2年男子】①千葉雄翔(南方)12秒32 ②菅原栄斗(佐沼) ③鈴木貴博(中田)
【200歳男子】①佐々木清翔(津山)23秒97 ②菅原栄斗(佐沼) ③千葉雄翔(南方)
【400歳男子】①鈴木貴博(中田)1分00秒66 ②千葉詩苑(登米) ③加藤寿騎(米山)
【800歳男子】①藤井大誠(登米)2分23秒27 ②柴田颯翔(米山) ③佐藤世(石越)
【1500歳男子】①金田達也(登米)4分49秒85 ②渡邊留唯(南方) ③岩瀬慈玄(佐沼)
【3000歳男子】①白石陽太(中田)9分54秒82 ②千葉秀(米山) ③塚本真彩斗(登米)
【110歳ハードル男子】①青田理仁(米山)18秒32 ②大澤滂(中田) ③須藤湊翔(米山)
【400歳リレー男子】①南方佐々木・渡谷・高橋・千葉 48秒91 ②津山(菅野・佐々木・清)及川・佐々木(悠) ③中田(三塚・鈴木・及川・大澤)
【走高跳男子】①高橋煌稀(佐沼)1.50m ②佐々木仁(東和) ③佐々木夢(登米)
【棒高跳男子】①青田理仁(米山)2.60m ②佐藤風雅(米山) ③千葉權己(佐沼)
【走幅跳男子】①大澤滂(中田)5.13m ②三浦有人(中田) ③伊藤夢生(米山)
【砲丸投男子】①藤原陵介(南方)10.56m ②阿部凌成(米山) ③高橋駿太郎(米山)
【四種競技男子】①須藤湊翔(米山)1:27.5点 ②鈴木隆也(南方) ③畠山拓翔(中田)

【100歳1年女子】①木川海(佐沼)13秒82 ②木村莉緒(登米) ③高橋心月(佐沼)
【100歳2年女子】①千葉咲依(佐沼)13秒51 ②岩淵ゆいな(豊里) ③石川結愛(佐沼)
【200歳女子】①石川結愛(佐沼)29秒05 ②沼倉瑞恋(米山) ③佐藤美惟(中田)
【800歳女子】①木川海(佐沼)2分42秒09 ②武川裕奈(佐沼) ③伊藤心愛(東和)
【1500歳女子】①鳥尾知咲(豊里)5分43秒96 ②佐々木美桜(登米) ③佐藤こな(石越)
【100歳ハードル女子】①浅野結菜(中田)15秒74 ②千葉咲依(佐沼) ③須藤彩夏(米山)
【400歳リレー女子】①佐沼(高橋・千葉・石川・木川)53秒94 ②中田(芳賀・古内・佐藤・浅野) ③米山(及川・久保・林沼倉)
【走高跳女子】①鈴木彩優(中田)1.41m ②菅原亜湖(佐沼)
【走幅跳女子】①佐藤美惟(中田)4.11m ②横山夢果(佐沼) ③小野寺美優(佐沼)
【砲丸投女子】①古内琴(中田)8.51m ②大森楓香(豊里) ③佐々木花音(豊里)
【四種競技女子】①浅野結菜(中田)2:23.4点
【男女総合】①佐沼 ②中田 ③米山
【男子総合】①中田 ②佐沼 ③米山
【女子総合】①佐沼 ②中田 ③登米





豊里

パークゴルフで親睦を深める

「第5回豊里水辺の公園パークゴルフ大会」(豊里地区体育協会主催、菊池亮会長)は10月6日、同パークゴルフ場で開かれ、市内の愛好者ら147人が参加しました。大会は、秋晴れのすがすがしい青空のもと、1グループ4人で4コース36ホール合計打数を競いました。参加者は、緑鮮やかな芝生の上で一打ごとに一喜一憂。ホールインワンが出ると大きな歓声が上がるなど、日頃の練習の成果を思う存分発揮しながら、親睦を深めていました。

祭りで満喫する秋のひととき

「第14回ふるさとよねやま秋まつり」(同実行委員会主催、鈴木敬一会長)が11月2、3の両日、米山総合支所周辺や道の駅米山を会場に開かれました。米山体育館のステージでは、米山町内の幼稚園、小中学校、文化協会による演奏やダンスなどが披露。屋外では緑日コーナーや出店、姉妹都市富山県入善町の紹介ブースが設置されたほか、よさこい演舞、ちびっこ相撲大会も催され、たくさんの来場者が秋のひとときを満喫しました。



米山

交通死亡事故ゼロ1500日達成

石越地区の「交通死亡事故ゼロ1500日達成表彰及び宮城県警察本部交通部長感謝状贈呈式」は10月3日、石越公民館で行われ、登米市交通安全対策協議会と佐沼警察署から石越コミュニティ運営協議会(菅原健一会長)へ表彰状が、石越総合支所へ感謝状が贈られました。同地区は、10月2日に交通死亡事故ゼロ1500日を達成。菅原会長は「地域の皆さんと協力し、これからも記録を伸ばしていきたい」と抱負を述べました。



石越

ふるさとに思いを寄せて60年

「令和元年度関東地区宮城県南方町人会60周年記念総会・懇親会」(同町人会主催、佐々木勝雄会長)は10月27日、東京都台東区にある上野公園グリーンパークで開かれ、南方町出身者など105人が参加しました。町人会は、関東などの南方町出身者による親睦と継続した古里との交流が目的。総会では、佐々木会長が60周年を迎えた感謝を述べ、南方中学校へ記念品が贈呈されました。参加者らは懐かしい思い出を語り合い、旧交を温めました。



南方

台風被害乗り越え仮オープン

台風19号の浸水被害を受けて休業していた「道の駅津山」は10月26日、敷地内で被害が少なかった物産館に拠点を移し仮オープンしました。浸水による泥などが撤去され、地域住民から再開の要望があったことから、運営する協同組合もくもくランドが仮オープンを決断。訪れた常連客とスタッフは、久しぶりの再会に会話を弾ませました。道の駅津山では、復旧作業を担うボランティアを募集しています(☎0225(69)2341)。



津山

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

総合防災訓練で意識を新たに

佐沼中学校(鎌田鉄朗校長、生徒435人)の「総合防災訓練」は10月15日、同校の敷地内で開かれ、生徒や保護者、地域住民など約480人が参加しました。総合防災訓練は、災害時の安全確保と地域内の連携を高めるために毎年開催されているもので、当日は防災マップ作り、炊き出しや避難所開設訓練などを実施。参加した生徒からは「日頃の備えが大事だと思った」といった声が聞かれ、参加者は防災への意識を新たにしていました。

にぎわう文化祭で健康を宣言

「第46回とよま文化祭」(登米文化協会、とよまコミュニティ運営協議会主催)は10月19、20の両日、登米公民館で開かれ、約300人が訪れました。文化協会会員や小中高生の作品が展示されたほか、飲食コーナーでは、はっと汁や五平餅が販売。登米総合支所市民課の職員による健康体験コーナーでは、1日の栄養摂取目標量を食品模型で分かりやすく展示し、来場者に健康宣言をしてもらうなど、健康への意欲を高めました。



登米



東和

思い思いに楽しんだ東和の秋

「東和の秋まつり」(同実行委員会主催、及川浩実行委員長)が10月26日、東和総合支所特設会場で開かれました。会場には、小中学生、文化協会会員の芸術作品や秋の草花を使った生け花の展示、囲碁クラブによる囲碁体験、地元産野菜や工芸品の販売、軽食コーナー、東和中学校の起業教育模擬店が出展。ステージでは、文化協会の芸能発表や小中学校の合奏と合唱、佐沼高校吹奏楽部の演奏などが披露され、来場者は思い思いに東和の秋を楽しんでいました。

壮大なハーモニーで聴衆魅了

「第28回なかだ音楽祭『秋を奏でる演奏会』」(同実行委員会主催、只野正昭実行委員長)は10月14日、登米祝祭劇場で開かれ、約300人の聴衆を魅了しました。音楽祭は、市内で活動する音楽団体や中田町内の小中学校から15組が参加。吹奏楽や合唱、大正琴、バンドなど、さまざまなジャンルの音楽が披露されました。フィナーレでは、全ての合唱団体と吹奏楽が合同で演奏。壮大なハーモニーに、客席からはひととき大きな拍手が送られました。



中田

10月25日までの3歳児健診でむし歯のなかった子どもたち



むし歯がなかった子は、市内9地区で48人中38人でした

東和町嵯峨立で生まれ、中田町に嫁いだヨシさん。現在は、介護老人保健施設なかだてで生活。100歳になった今でも周りへの気配り「ありがとう」といった感謝の言葉を欠かしません。職員とのコミュニケーションもよく、いつもすてきな笑顔で周りを癒しています。「家族で過ごした時間が人生で一番の思い出」と振り返るヨシさんに、家族はこれからも元気で長生きしてほしいと話しました。



只野 ヨシさん
(中田町・城内)
大正8年10月30日生まれ

おめでとうございます
祝100歳

生まれてから百年間、ずっと米山町で過ごしてきたすゑじさん。18歳で結婚し、豆腐屋を営みながら2人の子どもを育て上げ、今年の8月から特別養護老人ホーム「さーらの樹」で過ごしています。

長寿の秘訣は、体を動かすこと。特に、趣味だったゲートボールは95歳まで続けていました。すゑじさんは「みんなにお祝してもらって大変幸せです。とても短い100年でした」と人生を振り返りました。



大立目 すゑじさん
(米山町・江浪)
大正8年10月24日生まれ

一般向け

子ども向け

PICKUP_04 「死にがいを求めて生きているの」



朝井 リョウ/著
植物状態のまま病院で眠る智也と献身的に見守る雄介。二人の間に横たわる葛藤とは、「平成」を生きた若者たちが背負う自滅と祈りの物語。

PICKUP_05 「仙台の杜カフェ海カフェ」



阿部 和美/著
宮城県内で見つけた、こだわりのコーヒーや旬の食材を生かした料理などを提供している個性あふれるカフェを紹介。登米市内のカフェも紹介されています。

PICKUP_06 はじめてママへ 「やさしく作れる赤ちゃん小もの」



朝日新聞出版/編著
赤ちゃんのために、何か作りたいと思っている人に向けた布小物の作品集。赤ちゃんの小ものやママに役立つ便利グッズなど、手作りの出産祝いにも最適です。

PICKUP_01 「おしりたんてい ラッキーキャットはだれのてに!」



トルロ/作・絵
カフェ「ラッキーキャット」のマスターとオークションに出掛けた、おしりたんてい。マスターが欲しがる招き猫の謎を、おしりたんていがプッと解決します。

PICKUP_02 「しあわせって、なに?」



オスカー・ブルニフィエ/文、カトリヌ・ムリス/絵
幸せについて考えたことがありますか。6つのヒントをもとに、自分の考えをあれこれ組み合わせたり想像したりして、自分だけの答えを見つけ出す一冊。

PICKUP_03 「おはようおやすみぼくのせかい」



マーガレット・ワイス・ブラウン/文、ローレン・ロング/絵
日が昇り、子ウサギが「おはよう」とあいさつ。日が沈むと、今度は「おやすみなさい」のあいさつです。子ウサギは、みんなに上手にあいさつできるかな。

続々新刊が入荷。詳しくは市公式ホームページで

Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

どんなお話し聞けるかな 「クリスマスおはなし会」

図書館ボランティアだっこ・ラッコによる「クリスマスおはなし会」を開催します。クリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせやパネルシアターなど、ワクワクするような内容が盛りだくさん。皆様のご来場をお待ちしています。

【開催日時】
12月21日(土)
午前10時30分～
【場所】
迫図書館(2階研修室)
【入場料】
無料



ーおはなし会の開催日をお知らせしますー

開催日(開催時間は午前10時30分～)
★11月27日◎
12月7日◎、12月21日◎(クリスマスおはなし会)
1月18日◎、★1月22日◎
2月1日◎、2月15日◎、★2月26日◎
3月7日◎、★3月25日◎
★マークは「0歳から3歳のおはなし会」です。

■開館時間 午前9時～午後5時
■休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書館は祝日も開室)
※その他、館内整理など不定期での休館もありますので問い合わせください
■問い合わせ 迫図書館 ☎0220(22)9820
登米図書館 ☎0220(52)5330
中田図書館 ☎0220(34)8081



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

佐藤 陽奈さん

さとう・ひな 登米中1年
登米町・東針田

みんなに感動と笑顔を

私は将来、イラストレーターになりたいと思っています。昔から絵を描くことが大好きで、自分が納得のいく絵を描けたときは何よりも達成感や喜びを感じます。

私は絵を描く力を磨くために、4月から油絵教室に通っています。そこでは、絵の技術やデッサン方法、色の塗り方などを学んでいます。学んだことをしっかり生かし、自分が納得できる作品を少しでも多く仕上げられるようになりたいです。

しかし、最近は絵に夢中になるあまりに、勉強がおろそかになっています。勉強にも力を入れながら、勉強と絵の両立ができるように頑張ります。

私は今、夢に向かって絵を描き続けています。いつか、みんなが私の絵を見て、喜んだり、感動したり、笑顔になる姿を夢見ながら、日々、努力を重ねていきたいと思えます。

この夢を自分の手で実現できるように。

Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

鈴木 麻結さん(19)

すずき・まゆ
米山町・十日町

★身長と血液型 161㎝でB型です。

★現在は コメリハード&グリーン加賀野店で働いて2年目になります。高校生の時は、米山店でアルバイトをしていました。進路を考えた時に、従業員の人たちや家族から「正社員を目指してみたら」と後押しされ、採用試験を受けました。社内には、専門商品の知識や技能向上のために、勉強会や実習、試験を通して3級から1級へ昇級していくマイスター制度や業務に必要な資格取得サポートなどがあり、マイスター3級と危険物取扱者乙種第四類に合格しました。さらに2級、1級と業務に役立つ資格を取得できるように日々勉強しています。お客さまに「鈴木さんから商品を教えてもらいたい」と言われることも増えてきて、名前と顔を覚えてもらえ、頼りにされることはとてもうれしいですね。

★自分の性格 人見知りしないので、誰とでも仲良くなれますね。周りからは、いつも笑顔だねと言われます。

★休日は 買い物や映画など出掛けることが多いです。一関や盛岡など岩手県にドライブに行くことも多いです。

★理想の男性像 好きになった人が理想なので、具体的には難しいですね。私を大事にしてくれる人がいいです。

★今やってみたいこと 家族で旅行に行きたいです。今、那須ハイランドで遊んで、福島の温泉で一泊という計画を立てています。そして家族みんなで写真を撮りたいです。

★登米市について一言 登米市はほっとできるまち。魅力は自然の豊かさだと思います。登米市産の白米が一番好きな食べ物です。



Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



遠藤 陽奈ちゃん(2歳)

2017年9月22日生まれ
迫町・永田 武文さんの長女
パパとママは毎日成長している姿を見られるのがとても幸せです。



石川 慶祐くん(2歳)

2017年2月22日生まれ
南方町・須崎 慶典さんの長男
食べるのが大好き、わが家のやんちゃ君。たくましく、大きくなってね。



岩淵 実央ちゃん(1歳)

2018年10月28日生まれ
米山町・中新田 有座さんの次女
優しいお姉ちゃんに遊んでもらって、いつもにこにこ、ぶくぶく実央ちゃん。健やかに育ちますように。

～「わが家のアイドル」を募集～

市内の3歳までの子どもたちを募集しています。家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
＜応募方法＞①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字以内)⑧写真データを添付し応募してください <応募先>総務部市長公室広報広聴係
〒987-0511 迫町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212ldolMyHome>

電子申請 QR コード





千葉 立春さん(87) とみ子さん(89)
登米町・蛭沢
1953(昭和28)年2月入籍

尊敬し合えれば、けんかになつてごね

★二人のなれ初めは
【立春】母親が嫁探ししてだみ
たいで、そっちこっちの親戚
がら情報を仕入れて、最終的
に家内の家へ乗り込んで話を
まとめできたんだな(笑)。
★お互いの第一印象は
【とみ子】親同士で決めだごど
だから、何も言うごどなかつ
たね。
★結婚当時の思い出は
【立春】教師になる夢があつて、
高校卒業後は農業しながら
勉強して、14年かけて教師に
なったの。勤務地は岩手県二
戸で、家のこともあつたがら
単身赴任。家内が一通り農業
でぎだごら助かつたな。
★夫婦円満のコツは
【立春】お互いに尊敬の心を持
つことだね。そうすれば、夫婦
げんかになつごどない。あご
は、感謝の心。仕事で家を空け
るのを、何も言わずに送り出
してくれだごには感謝だね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「故郷への感謝の思い」

「薫ちゃんは僕ね、今の汽車
で来たんだよ」と息を切らしな
がら、走つて浅水に来たんだ
よ」と、中田に住むいとこは70
年以上上つた今も、懐かしそう
に話してくれます。東京立川飛
行場のそばに住んでいた昭和
19年の秋、頻繁にあつた米軍の
空襲から子どもを守るため、母
が浅水の実家に私と妹を預け
て来た時の話です。
戦後は、父母も自宅を焼き
出され、家族みんなでお世話
になつていりましたが、数年後、
父は戦時の負傷がもとで亡く
なり、以来、母の実家で高校に
入るまで暮らしてました。
戦後初の小学生として、小
学校に入学。教科書は1学期
の終わり頃にはボロボロに、
ノート代わりの石板に先生か

森田 薫さん(80)

東京中田会副会長
中田町(沼畑)出身



らもらつた丸印は、家に着く
頃には、ほとんど消えて見え
なくなつていました。そんな
中でも、みんなで仲良くあぜ
道を駆けたり、線路の土手を
滑つたりしながら通学しまし
た。同級生や近所の子どもた
ちとは、そり滑り、堀や小川で
の魚捕りや水遊び、田んぼで
野球などをして遊びました。
ふと思ひ出す田舎の生活は
懐かしく、心地よいものが数
多くあります。「お茶っこしさ
え」と声を掛けると、近所の人
たちが集まり、縁先で楽しそ
うに語らつていた光景は心か
ら離れません。
ほかにも、農作業の手伝
い、共同の道路や水路の手入
れ、冠婚葬祭の役割分担、寄
り合いというミーティング、暮
らしの中での助け合い。みそ、
しょうゆ、納豆、麦芽で作るあ
め、豆腐、干し柿、冬場はしみ
豆腐、しみ大根などの暮らし
に根付いた食材。牛や鶏を飼
い、魚介は農産物との物々交
換。季節の山菜や漬物、保存食、
祭りのごちそうなど、全てが
昔から伝えられた素晴らしい
財産だつたのでしよう。
浅水で過ごした時に得た、
助け合いながらみんなで共に
生きる素晴らしさは、私の財
産になつています。



ふるさとバックに添える。米
千支の置物は数量限定。米
山町出身の吉田さん(横浜
市)が手作りしています

おらほの道の駅

道の駅米山
「ふる里センターY・Y」



「生産量は減少していますが、ササニシキは、やわらかな食感と
上品な風味で根強い人気がある」と教えてくれた山崎駅長。

今月は、道の駅米山「ふる里
センターY・Y」の山崎駅長一
郎(いちろう)にお話を伺いました。
Q お勧め商品などを教えてく
ださい
この時期は、新米がお勧め
です。期間限定ですが、「登米
産ササニシキごはんの日」と
して、ササニシキの消費拡大
に取り組んでおり、12月1日
までの土日、祝日はレストラ
ンで提供するごはんはと店舗の
おにぎりに新米ササニシキを
使っています。ぜひ一度、ご賞
味ください。
また、年2回、夏と冬に発送
している「ふるさとバック」は



人気商品のふるさとバック。冬の発送分
の注文は、12月末まで受け付けています

Q これから入荷する人気商品
を教えてください
12月中旬から米山産イチゴ
「もういっこ」が入荷する予定
です。イチゴは、多くの人が買
いに訪れる人気商品。お早め
にお買い求めください。
【問い合わせ】道の駅米山「ふ
る里センターY・Y」
☎0220(55)2747

短歌
まちの文芸

作品募集!
●1月号は俳句川柳です。住所・氏名・電話
番号を記入し、11月29日(金)まで応募
ください。作品氏名には全てふりがなを振
つてください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

号砲の響く校庭走る子ら
砂煙あげただひたすらに
短き日ふと見上ぐれば北上は
夕暮れ迫る錦秋の峰
天国の親友の写真中央に
久々のぼつぼり会
華やかな生花の中にひともの
吾亦紅ありありてうれしも
曼珠沙華夫の命日忘れしか
蕾のままの令和の日岸

千葉 良子 (東和)
丸山 米子 (東和)
及川千枝子 (中田)
熊谷たかよ (中田)
熊谷夕へ子 (中田)

わが身体五病息災にもなり果てて
今日も一日暮れゆく夕べ
忽ちに稲穂色づき重そうに
風にゆられて刈り入れを待つ
鮮やかに凜と咲きたる彼岸花
亡き両親偲ぶ畑の夕暮れ
明け遣らぬ暗き農道保冷車は
サイドライトを華やかせ行く
秋来たり揺れる秋桜見る度に
母の旅立ち想い出されて

千葉 源治 (中田)
本宮やつの (中田)
石崎よしの (米山)
佐々木康子 (米山)
加藤 了子 (南方)

応募総数13作品

情報場 広場 Information

催し

市視聴覚センター 映画上映会を開催

- 【上映作品】『ピノキオ』
 - 【日時】12月22日(日)午後1時30分上映開始
 - 【場所】市視聴覚センター(2階第1研修室)
 - 【対象者】幼児・大人
 - 【入場料】無料
 - 【定員】先着50人
 - 【問い合わせ】市視聴覚センター ☎0220(22)5219
- ## 海外の文化に触れる 登米市国際まつりを開催
- 【日時】12月15日(日)午前10時30分～午後2時
 - 【場所】迫公民館
 - 【参加費】無料(一品持ち寄り)

募集

- 【日時】12月6日(金) 12月10日(火) 12月13日(金) 12月17日(火) 12月20日(金) 午後1時30分～3時30分/全5回
 - 【場所】市役所南方庁舎(2階 南方住民情報センター)
 - 【対象者】市内に在住または勤務し、障がい福祉や手話に関心がある人
- ## 初心者向け 手話教室受講生を募集
- 【日時】12月6日(金) 12月10日(火) 12月13日(金) 12月17日(火) 12月20日(金) 午後1時30分～3時30分/全5回
 - 【場所】市役所南方庁舎(2階 南方住民情報センター)
 - 【対象者】市内に在住または勤務し、障がい福祉や手話に関心がある人

夜間納税相談窓口 (11月・12月分)

【日時】11月28日(木) 12月19日(木)
いずれも午後8時まで

【場所】総務部収納対策課(迫庁舎1階)

【問い合わせ】
総務部収納対策課(徴収対策係)
☎0220(22)2169

住宅入居者を募集

東和定住促進住宅、豊里定住促進住宅、石越定住促進住宅は随時入居者を募集しています。入居希望者は住宅都市整備課まで問い合わせください

【申し込み・問い合わせ】
建設部住宅都市整備課(住宅整備係)
☎0220(34)2316

親子で楽しむ クリスマスコンサート

親子で一緒にリズムに合わせて、歌ったり踊ったりして楽しむクリスマスコンサートを開催します。

参加希望者は電話で申し込みください。開催時間など詳細は問い合わせください。

【開催日】12月7日(土)

【場所】登米祝祭劇場(大ホール)

心がある人

【講師】市手話通訳相談員、ゲスト講師(聴覚障がい者)

【内容】聴覚障がいや手話についての理解、簡単な手話表現

【募集人員】20人程度(定員になり次第締め切り)

【受講料】無料

【申込方法】電話、ファクシミリ(住所、氏名、電話番号、手話教室受講希望と明記の上、送信してください)

【申し込み・問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(障害福祉係)
☎0220(58)5552
FAX0220(58)2375

税務申告相談の任期付職員を募集

【職種・採用人員】税務申告相談・9人程度

【任期】令和2年1月6日(日)～3月31日(火)

【受験資格】学校教育法による高等学校卒業業者および同等以上の経歴を持つと認められ、公務員などで通算3年以上、税務申告相談などの業務経験がある人

【受験申込】申込書、職務経歴書および試験実施要綱は、平日午前8時30分から午後5時15分まで、総務部人事課および

スノーボード教室 参加者を募集

市内の青年を対象にしたスノーボード教室を開催します。

【日時】令和2年1月19日(日) 午前7時～午後6時30分(迫公民館発着)

【場所】岩手県夏油高原スキー場

【内容】▼初心者コース・初級者コース▼中級者コース・上級者コース

※インストラクターからレベルに合わせた指導が受けられます

【参加資格】市内在住の20歳以上の男女

【募集人数】40人

【参加費】3500円(リフト代・交通費など)

※昼食、レンタル代などは自己負担です

【申込期限】令和2年1月10日(金)

※先着順ですので、早めに申し込みください

【問い合わせ】迫公民館 ☎0220(22)7324

男性にとつての 男女共同参画講座

「家族間コミュニケーションを学ぼう!」家族のコミュニケーションをつなぐコミュニケーション講座を開催します。

【対象】市内に在住する男女 4時～

【場所】中田農村環境改善センター(視聴覚室)

【内容】家族間のより良いコミュニケーションの方法を学び、お互いの考え方や価値観の違いを理解し合うことを目指します

【定員】20人

【参加費】無料

※託児も無料で利用できます(1～6歳の未就学児)先着5人程度)

【申込方法】電子メールに①参加者の氏名②住所③電話番号④託児希望者は、子どもの氏名、年齢、生年月日を記入の上、申し込みください

【申込期限】11月29日(金)(定員になり次第締切)

【申し込み・問い合わせ】企画部市民協働課(市民活動支援係)
☎0220(22)2173
✉shiminkyodo@city.tome.niyagi.jp

び税務課で配布しています。

市公式ホームページからもダウンロード可能。郵便で請求する場合は、封筒の表に「登米市任期付職員採用試験申込書請求」と朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください

【受付期限】11月29日(金)

※申込受付は、平日午前8時30分から午後5時15分までとし、郵送の場合は11月29日(金)まで必着のものに限ります

【試験日程】▼1次試験Ⅱ書類審査▼2次試験Ⅱ面接試験(12月中旬予定)

※2次試験は1次試験合格者のみ対象

【申し込み・問い合わせ】総務部人事課(人事研修係)
〒987-0511 登米市 迫町佐沼字中江2-6-1
☎0220(22)2145

会計年度任用職員 任用希望者を募集

市は、令和2年度のパートタイム会計年度任用職員の任用希望者を募集します。

会計年度任用職員制度は、令和2年度から導入する新たな

び税務課で配布しています。

市公式ホームページからもダウンロード可能。郵便で請求する場合は、封筒の表に「登米市任期付職員採用試験申込書請求」と朱書きし、宛先を明記した120円切手が貼ってある返信用封筒(A4版が入る大きさ)を必ず同封してください

【受付期限】11月29日(金)

※申込受付は、平日午前8時30分から午後5時15分までとし、郵送の場合は11月29日(金)まで必着のものに限ります

【試験日程】▼1次試験Ⅱ書類審査▼2次試験Ⅱ面接試験(12月中旬予定)

※2次試験は1次試験合格者のみ対象

【申し込み・問い合わせ】総務部人事課(人事研修係)
〒987-0511 登米市 迫町佐沼字中江2-6-1
☎0220(22)2145

エネルギーに夢をのせて

KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社

快適生活 創造企業

災害時安定供給施設

- アクアショップ KUMANEN
- BFC クマネン
- コインランドリー 清潔空間
- なごみの家きらり
- 【関連企業】 ■網ネオウィング

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北畝田 120番 1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
http://www.kumanen.jp E-mail:info@kumanen.jp

確かな技術で まかせて安心

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

DAIYU HOME CENTER

毎月8のつく日 毎週土曜日

8日 18日 28日

税抜3,000円以上お買上げで

ポイント 5倍

お正月飾り各種 大量入荷しました!!

宮城県登米市中田町石森字駒牽400
TEL 0220-23-9433
営業時間 あさ8時～よる8時まで

登米市は自主財源を確保するため、広報のために有料広告を掲載しています。

登米祝祭劇場 12月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
1①	● 第25回登米市合唱祭 【開演】午後1時30分 【会場】大ホール 【入場料】無料	登米市合唱連盟 ☎ 0220(34)6649
14②	● 親しみクラシック 東京バリアンサンプル 【開演】午後1時30分 【会場】小ホール 【入場料】1000円 小中高生無料(要整理券)	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
15③	● 20周年記念大会 股旅演歌舞踊全国大会 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】2000円	同実行委員会 ☎ 090(5830)2854
22④	● 第53回アンサンブルコンテスト 宮城県大会予選登米地区大会 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】無料	登米総合産業高校 ☎ 0220(34)4666

※12月の休館日は、2日、9日、16日、23日、29日～1月3日まで
※入場料は前売り価格です

指定管理者を募集する施設

公の施設の名称	問い合わせ先 (担当部署)
▶ 豊里地域産物活用施設(産直がんばる館)	産業経済部産業振興課 ☎ 0220(34)2716
▶ 米山産地形成促進施設(ふるさとセンターY・Y)、米山西野農村公園 ▶ 東和物産館(林林館)、東和地域活性化施設(森の茶屋) ▶ 長沼フートピア公園 ▶ 登米市道の駅三滝堂地域活性化施設	産業経済部商業観光課 ☎ 0220(34)2734
▶ とよま観光物産センター(遠山之里)、春蘭亭、登米寺池城址公園、登米駒つなぎの広場、歴史資料館(警察資料館、教育資料館、水沢県庁記念館、伝統芸能伝承館(愛称:森舞台)) ※登米懐古館を除く	教育委員会教育部文化財文化振興室 ☎ 0220(34)2332

市内施設の指定管理者を募集
公の施設を管理運営する指定管理者(団体)を募集しています。個人は応募できません。

お知らせ

油類の取り扱いには注意を
冬は、家庭や職場などで油

【申込期限】令和2年1月10日(金)(定員になり次第締切)
【申し込み・問い合わせ】企画部市民協働課(市民活動支援係)
☎ 0220(22)2173
✉ shinkyodo@city.tome.miyagi.jp

【募集人員】2人
【応募資格】①市内に住所を置き、居住している②男女共同参画に関心がある③公共性の観点から意見を述べられる④登米市の職員および市議会議員でない
※①④を全て満たす人
【任期】令和2年2月10日から2年間
【役割】①男女共同参画の推進に関する計画の策定および変更に関する調査審議②男女共同参画の推進に関する意見または苦情に関する調査審議

【募集要項・申請書】指定管理者を募集する施設の担当部署で配布します。募集・申請に関する詳細は、担当部署まで問い合わせください
【指定期間】令和2年4月1日(令和5年3月31日)
【選定方法】公の施設指定管理者選定委員会(書類、ヒアリング審査により、管理運営に最も適した団体を候補者に選定します。その後市議会での承認を受け、指定管理者を決定します)

【内容】月間予定表、日記、最新の統計資料、仕事・生活に役立つ資料など
【価格】600円(税込)
【販売方法】各総合支所市民課で販売。取扱時間は午前8時30分～午後5時15分(土日、祝日を除く)
【販売期間】12月20日(金)まで
※なくなり次第販売終了
【問い合わせ】企画部企画政策課(企画政策係)
☎ 0220(23)7066

令和2年版みやぎ手帳を販売
【問い合わせ】市民生活部環境課(生活環境係)
☎ 0220(58)5553

【会議回数】年3回程度
【応募方法】次の事項を記載した「申込書」と「作文」を持参または郵送で提出してください
①住所、氏名、電話番号、生年月日②職業、勤務先③経歴(職歴、学歴など参考になる事項)④地域における活動の状況⑤応募動機
※申込書は企画部市民協働課に備え付けているほか、市公式ホームページにも掲載しています(任意の様式でも可)
※作文は「男女共同参画社会」と題し、400～800字程度。様式の定めはありません
【応募期間】11月21日(木)～12月20日(金)必着
※選挙結果は応募者全員に通知します
【応募先・問い合わせ】企画部市民協働課(市民活動支援係)
〒987-0511/登米市迫町佐沼中江2丁目6-1
☎ 0220(22)2173

ねんきんだより
年金相談・お手続きはぜひご予約
日本年金機構では、年金相談や年金請求手続きについて、事前予約を受け付けています。待ち時間の少ない「予約相談」をぜひご利用ください。予約は、全国共通の予約専用受付電話「0570(05)4890」またはお近くの年金事務所にて電話するか、来訪時に申し込みください。
※予約相談希望日の1ヶ月前から前日まで受け付けています
※申し込みの際は、基礎年金番号が分かるもの(年金手帳や年金証書など)を用意してください
【問い合わせ】古川年金事務所
☎ 0229(23)1200
▼市民生活部国保年金課(年金医療係)
☎ 0220(58)2166

【工事予定期間】11月25日(月)～12月10日(火)午後10時～午前6時(期間中5日間程度)
【問い合わせ】宮城県道路公社みやぎ県北高速幹線道路工事事務所
☎ 0220(23)7066

【通行止め区間(左図)】みやぎ県北高速幹線道路工事による橋上部の架設工事のため、迫町北方地区の国道398号が夜間通行止めになります。
工事期間中は、通り抜けできませんので、迂回路の通行をお願いします。
【通行止め区間(左図)】



被災地におけるDV予防啓発講座を開催
「DV問題と関係機関連携の必要性」をテーマに講座を開催します。
【対象】一般市民、民生委員、児童委員、人権擁護委員、教育関係
☎ 0220(22)2147
▼各総合支所市民課(地域振興係)

東北幹線道路工事に伴う交通規制にご協力を
みやぎ県北高速幹線道路工事による橋上部の架設工事のため、迫町北方地区の国道398号が夜間通行止めになります。
工事期間中は、通り抜けできませんので、迂回路の通行をお願いします。
【通行止め区間(左図)】

<p>人と環境への新しい優しさを目指して お気軽にご相談下さい</p>	<p>株式会社 清建 環境プロバイダ TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658 本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼南駒木袋212-3 TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535 本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1</p>	<p>山台(営)/〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央3丁目18-1 泉ネットワーク・ビル2階 広告 TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980 南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷大字大船沢313 TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122 URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp</p>
<p>有限会社 清建物流 TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535 本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1</p>	<p>有限会社 リースキン宮城 TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字下田中53番地8</p>	<p>厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所 有限会社 はさま看護婦・家政婦紹介所 すすらん託児室・保育園 TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼中江2丁目21(中江ビル) 【すすらん託児室】TEL.0220-22-7755</p>

<p>株式会社 刺蒸くまがい 中田中学校通り 0220-34-5002</p>	<p>株式会社 誠香社 葬儀からご法要までの一環システム 登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます) 24時間受付 0220-34-4856(代表)</p>
--	--

12月の納税

市県民税	4期
国民健康保険税	7期
介護保険料	7期
後期高齢者保険料	6期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限 / 1月6日(月)

登米市の人口・世帯数

(令和元年10月末現在)

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,554	9,830	10,385	20,215 (▲18)
登米	1,791	2,278	2,476	4,754 (▲2)
東和	2,341	3,053	3,141	6,194 (▲11)
中田	5,174	7,663	7,969	15,632 (11)
豊里	2,150	3,211	3,268	6,479 (▲22)
米山	2,841	4,438	4,563	9,001 (▲6)
石越	1,569	2,396	2,396	4,792 (▲4)
南方	2,710	4,176	4,354	8,530 (9)
津山	1,156	1,534	1,673	3,207 (4)
合計	27,286	38,579	40,225	78,804 (▲39)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

市内の交通事故発生状況

(令和元年10月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	R1	H30	増減数
人身事故発生件数	124件	150件	▲26件
死者数	3人	4人	▲1人
負傷者数	153人	193人	▲40人
物損事故発生件数	1,107件	1,272件	▲165件

※平成31年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)

警察署からのお知らせ

冬道の走行は、積雪、凍結などによる滑走事故が多発します。「冬道の安全運転1・2・3運動(1割のスピードダウン、2倍の車間距離、3分早めの出発)」を実践し交通事故防止に努めましょう。

市内放射線の測定結果

測定日: 令和元年11月1日 単位: マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.05	晴れ
消防署北出張所(石越)	0.04	晴れ
消防署東出張所(東和)	0.04	晴れ
消防署津山出張所	0.04	晴れ
消防署南出張所(豊里)	0.05	晴れ
消防署西出張所(南方)	0.04	晴れ

空間放射線量の測定結果は市公式ホームページに掲載およびメール配信しています。

高齢者の負担を軽減 外来年間合算制度

高額療養費(外来年間合算)制度は、年間を通して、医療保険で長期の外来診療を受けている人の負担を軽減する制度です。平成30年8月1日から令和元年7月31日までに、医療機関や薬局で支払った外来診

凍結応急手当

凍ったところにタオルなどをかぶせて、ぬるま湯をかける(熱湯は蛇口などを破裂させる恐れがあります)
▼蛇口や水道管が破裂したときは、水抜栓を閉め、給水工事指定店に修理を依頼してください。水抜栓の場所が分からないときは、破損箇所をタオルを巻きつけて、修理を依頼してください

水道管の防寒対策は お済みですか

▼水道管防寒対策
凍結防止用ヒーターのコンセントは確実に差し込む
▼長期留守にする場合など

女性活躍を後押し 相談窓口開設

「起業したい」「子育てしながら働きたい」「家族の事を相談したい」など、男女共同参画の悩み相談を12月31日(火)まで受け付けます。秘密は守ります。匿名でも構いませんので安心してご相談ください。

3010運動

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに、捨てられている食品のことです。年間約643万トに及ぶ食品ロスは、国民一人当たり換算すると毎日茶わん1杯分になります。

3010運動

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに、捨てられている食品のことです。年間約643万トに及ぶ食品ロスは、国民一人当たり換算すると毎日茶わん1杯分になります。

水道管の防寒対策は お済みですか

▼水道管防寒対策
凍結防止用ヒーターのコンセントは確実に差し込む
▼長期留守にする場合など

女性活躍を後押し 相談窓口開設

「起業したい」「子育てしながら働きたい」「家族の事を相談したい」など、男女共同参画の悩み相談を12月31日(火)まで受け付けます。秘密は守ります。匿名でも構いませんので安心してご相談ください。

3010運動

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに、捨てられている食品のことです。年間約643万トに及ぶ食品ロスは、国民一人当たり換算すると毎日茶わん1杯分になります。

3010運動

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに、捨てられている食品のことです。年間約643万トに及ぶ食品ロスは、国民一人当たり換算すると毎日茶わん1杯分になります。

差し押さえ物件を公表

【公売日時】令和2年1月21日(火)午前10時~10時30分
【公売方法】期日入札
【公売場所】市役所迫庁舎(1階会議室)
【公表公告】各総合支所の掲示板に公示しています
【参加申込期限】12月10日(火)
【公売時提出書類】①個人身分証(運転免許証の写し)または住民票抄本 ▼法人 法人登記事項証明書、収入印紙(区分ごとに200円) ②買受適格証明書 ③印鑑(認印でも可) ※各証明書は発行後3カ月以内のもの

3010運動

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに、捨てられている食品のことです。年間約643万トに及ぶ食品ロスは、国民一人当たり換算すると毎日茶わん1杯分になります。

努力の 向こう側に――

太田忠幸・洋子

第6回全日本ターゲット・パードゴルフ全国大会in京都
男・女2人組の部優勝



Ohta Tadayuki

1949年11月20日生まれ、迫町下舟丁在住。2003年から競技を始め、10年からは登米市ターゲット・パードゴルフ協会の事務局長を務める。趣味は家庭菜園。

Ohta Yoko

1953年12月16日生まれ。退職を機に競技を始める。趣味は水泳。

1 長沼フットピア公園を自分たちで整備してTBG場を開設 2 体験希望者には道具の貸し出しも可能 3 毎週、火、木、日曜の午前中に長沼フットピア公園で練習。興味のある人は下記に問い合わせください 4 登米市TBG協会 ☎0220(22)5270

「優勝したいとは思っていましたが、まさか本当にできるとは思わなかった」と驚きの表情を見せた。

第6回全日本ターゲット・パードゴルフ全国大会in京都（以下、TBG）は9月21、22の両日、京都府舞鶴市の青葉山ろく公園で開かれ、登米市ターゲット・パードゴルフ協会に所属する太田忠幸さん、洋子さん夫妻が男・女2人組の部で優勝。悲願の日本一の座に輝いた。

ターゲット・パードゴルフ（以下、TBG）は、羽根の付いたゴルフボールを、ゴルフのアイアンに似た専用クラブで打ち、傘を逆さに立てたようなネットホールに何打で入れるかを競う。傘の中（アドバンテージホール）に入ればショット数が、下側の輪の中（セカンドホール）に入ればショット数に1打足した打数が記録となる。全日本大会の2人組の部では、各ホールの1打目を2人がそれぞれが打ち、優位な方を選択。以降は交互に打ち、18ホールの合計打数が勝敗を決める。

太田夫妻は、一昨年の全日本大会で3位入賞を果たし、昨年も優勝を目指して臨んだが、結果は14位に終

わった。「遠くに飛ばすことばかり意識し、自分勝手なプレーが多く、ミスが続いた」と反省。狭いコースや木があるコースを想定し、状況に応じた打ち分け方や正確性を強化。クラブを握らない日はなかった」と言うほど、以前にも増して練習に励んだ。

順調に実力が付いていくのを実感していたが、練習量の増加に伴い忠幸さんの膝には疲労が蓄積。ついに悲鳴を上げた。痛みを我慢しながら練習を続け、地方の大会に出るも、思うような結果は出ない。焦る気持ちを抑え、通院して治療に専念し、全日本大会前に完治。万全の状態で大大会当日を迎えた。

今大会のコースは、幅が狭く、難易度が高く、練習の成果が試された。前回までの反省を生かし、どう攻めるか戦略を話し合いながら、正確性を重視。ショートホールでは忠幸さんがホールインワンを達成するなど、ほかのチームが難コースに苦戦する中、前半9ホールを3アンダーで折り返す。後半、コースの幅が広がったことで、飛ばしたいという気持ちが出てしまう。力が入り、9、10ホールでOBを打ちスコアを落とした。

今までの大会では、最後までミスを引きずってしまったが、この日は違った。これまでの練習を思い出し、もう一度集中。終盤に巻き返し、終わってみれば2位に6打差をつけて圧勝。全日本大会初制覇を成し遂げた。

同協会の佐藤雄三会長は「登米市ターゲット・パードゴルフ協会では、競技のレベルを上げるため、長沼フットピア公園内の一部を、協会のメンバーで除草し、暗渠を設置してコースを整備した。そのかいもあり、素晴らしい成績を残してくれた。全体のレベルアップや競技の普及にもつながる」とねぎらった。洋子さんは「毎日の練習が自信になった。努力はうそをつかないと実感した」と振り返り、忠幸さんは「お互いにミスをカバーし合えるようになったのが優勝につながった。この競技は仲間たちと話しながらできることと、ホールに入ったときの爽快感が魅力。多くの人に興味を持ってもらい、一緒にプレーしたい」と呼び掛ける。

優勝はできたが、実力的にはまだまだ上がいる。次は個人の部でも優勝したい。2人は口をそろえて次の目標を語り、頬を緩めた。



ときめき人

Tokimeki bito



思いやりの心で 病院と患者さんを 橋渡し

追町・駒木

大竹 寅夫さん

おおたけ たらお
1940年生まれ 血液型/A B型

Profile

福島県喜多方市生まれ。高校卒業後、電気関係の会社に就職し、東京、イラン、宮城県内各地の転勤を経て、1967年に追町へ移住。

登米市民病院では、「総合案内」などでお手伝いしていただけるボランティアを募集。年齢、性別、経験は問いません。

登米市民病院事務局
☎0220(44)4795



「病院に来る人は、少なからず不安や心配を抱えています。私たちの声掛けで、少しでも安心してもらえれば」と話す、登米市民病院ボランティアの大竹さん。仕事を退職した2009年、「ただ家にいるよりも、健康のために体を動かしながら、地域に貢献できることがしたい」と、病院でのボランティア活動を始め、毎週水曜日に総合案内に立つ。

活動は、月から金曜の午前中。毎日1人はボランティアとして協力ができるように調整しながら、総勢7人で活動している。活動内容は、初診、再診の診療受付や診察室などへの案内、車いす介助といった患者さんの手助けが中心。このほか、クリスマス、ひな祭りなどの季節の行事に合わせて院内を飾り付け、訪れた人を和ませている。

「介助のプロではないので、患者さんの希望全てに応えられないもどかしさもあります」と語る大竹さんだが、ボランティアだからこそ気付いたことがある。それは、車いすに支障がある段差や階段でつまづき、転倒する人の多さだ。それを事務局に伝え、段差は解消。階段の幅を広げ、気付きやすいように色付きのテープを貼り、改善された。ボランティアとして危険箇所や患者さんの要望を把握し、より良い病院づくりへの一翼を担っている。

「誰かのためではなく、自分のために始めた活動。でも、『ありがとう』と言葉をかけてもらえるとやりがいにつながります。健康なうちは続けていきたいですね」。今日も市民病院の入口では大竹さんの笑顔が患者さんを温かく迎え入れる。

編集後記

▼今号も取材を通して多くの人の出会いがありました。創業した人も、これからしようとしている人も前向きでエネルギーを感じました。そういう人たちと話しをしていくと私も元気になります。いつか私も誰かを元気にしてあげられるような存在になりたいと感じました。(高橋)

▼味覚のアトリエを取材。市内産の豚肉と野菜を使った料理が完成し、試食&質問タイムに「今日の料理に合うお酒は」との質問に、「地元のお酒」とシェフ。同じ産地同士の組み合わせは相性がいいのだとか。学んだ料理を澤乃泉で楽しみたいと思いました。(小野寺)

▼台風19号で被災した津山町横山地区へ取材に行ってきました。被災2日後は、まだ家の中が泥にまみれている所が多く、住民やボランティアの皆さんが復旧作業に追われている状況でしたが、皆さん快く取材に応じていただきました。被災地の一日も早い復旧を心より祈っております。(三浦)



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)
<https://mail.cous.jp/tomecity/>